

第8回委員会の主な検討内容

- 市民性育成において、自分の意見をしっかりとと言えるということは大切。中学校1年生段階であれば、「自分たちがやった」という気持ちを大切にしたい。今回は、自分のまちのプチ自慢というかたちで、自分たちのいいところ、その延長で地域や武蔵野のいいところを探している。
- 地域が違えば、今回の授業内容でも違いが出てくるだろう。
- 市民性を高めることをねらいとするならば、うまく発表できなくても、武蔵野市っていいなと思った子や、誇りを持つんだということをもっと大事にしていきたい。
- 中学1年生でプレゼンテーション能力を育成しているのが印象的だった。学年が上がるにつれて、裏付けのデータをしっかり取り、もっと説得力を増していこう。そういったそれぞれの学年でどのような活用をしていくかのロードマップが必要だろう。
- 中学校3年生のプレゼンを見て、かっこいい、ああいう先輩になりたいというのは、大きな教育力になる。
- 自分で答えを出して、自分でアウトプットすることが、今、一番大切な資質・能力の一つだろう。また、武蔵野市民科で育成する資質・能力は、現在示してる者同士で重なる部分もある。そのことを踏まえて、単元固有の育てたい資質・能力を具体化し、指導計画を作成できるとよい。